

# 日本の食の安全特別コース

香川大学ニュース

## Progress

2015年度のコンソーシアム会議では、教育プログラムとしてのハラル教育の必要性について、企業サイドからご提案がありました。日本全体として明確な要求が出ているわけではありませんが、以前から日本の食の安全特別コースでのハラルフード製造技術教育の必要性を感じておりましたので、教育科目として取り込むか、実習教育として取り入れるか、前向きに検討しております。東南アジアでは、イスラム社会への直接的な食品販売に限らず、日頃から拡大しつつあるアジアの物流という観点から見ても、あらゆる食の安全を保證できる「ハラル」に対するインフラを整備することが重要であると考えられています。そのため、多くの企業でハラル対応の商品開発が行われているようです。今年のコンソーシアム会議の議論を契機として、本プログラム学生にハラル食品製造の授業あるいはセミナーなど、ハラルの勉強ができる機会を与えることへの助言を頂いたと理解しています。今後、我々のプログラムがハラル食品の製造技術も発信できる唯一の高等教育機関となるよう取り組んでいきたいと思えます。さらに、この話題だけにとどまらず、大学が取り組むべき課題や社会貢献の課題がございましたら、是非とも、みなさまのご要望をお聞かせください。日本の食の安全特別コースの教育プログラムは、今後もさらに進化していきたいと考えています。



コンソーシアム会議の様子

## 日本の食の安全特別プログラムの現状と展望

平成27年9月18日(金) 香川大学農学部において、第5期留学生の修了式が学内外の関係者の皆様にご列席頂き、おごそかに開催されました。長尾学長より3名の修了生に学位記が授与され、修了生に向けて、お祝いと温かい激励の言葉が贈られます。第5期留学生3名それぞれが食



品企業(日本ハム(株)・フジッコ(株)・堂本食品(株))に就職が決まり、今後の益々の活躍が期待される所です。10月6日(火)は農学部において、第7期留学生9名の入学式が開催されました。長尾学長、片岡農学研究所長より歓迎と激励の言葉を頂き、また、来賓の四国経済産業局の栗田様と(株)ハマダフードシステムの蓮井様より心温まるご祝辞を頂きました。おごそかな中、新入生9名は緊張した面持ちでこれから始まる日本での勉学や生活への期待を胸に、お祝いの言葉に耳を傾けていました。



品企業(日本ハム(株)・フジッコ(株)・堂本食品(株))に就職が決まり、今後の益々の活躍が期待される所です。10月6日(火)は農学部において、第7期留学生9名の入学式が開催されました。長尾学長、片岡農学研究所長より歓迎と激励の言葉を頂き、また、来賓の四国経済産業局の栗田様と(株)ハマダフードシステムの蓮井様より心温まるご祝辞を頂きました。おごそかな中、新入生9名は緊張した面持ちでこれから始まる日本での勉学や生活への期待を胸に、お祝いの言葉に耳を傾けていました。

## Report

### 留学生交流の現状

香川大学農学部の正規留学生(香川大学の認定する単位を取得している留学生)は、今年度70名程度になりました。ほぼ大学院生ですが、130名程度の学生が修士課程、博士課程等で勉強していますので、留学生70名という数は決して少なくはありません。日本の食の安全特別コースでも、10月から学生数が16名(タイ4名、中国5名、ベトナム3名、インドネシア4名)となりました。これ以外にも、8月から9月にかけて約一ヶ月の間、日本学生支援機構(JASSO)の支援により、「食品の安全・機能解析教育に関する東南アジア等の大学間体験学習型プログラム」の短期受入れプログラム(ショートステイ)にて、米国、インドネシア、タイ、中国、トルコ、ブラジル、メキシコなど10カ国、17大学から28名の留学生が渡日しました。留学生達は食の安全分析学、伝統食品製造技術、企業インターンシップに加え、茶道、着付けなど日本文化を日本人と共に学び、学生交流を行いました。



短期受入れプログラム(ショートステイ)の学生

## News

### 日本文化を学ぶ

6期生が、6月から11月までの半年間にわたり、日本文化を学ぶため、茶道教室に参加しました。留学生はとも興味深く先生の話をメモしたり、実際に茶道を体験しました。



## Profile

### 第7期生の紹介

1. フリガナ
2. 氏名
3. ニックネーム
4. 最終学歴
5. 出身国
6. 今後の抱負

 <p>フー チー オアン Vu Thi Oahn (オアンさん) ハノイ工科大学卒 (ベトナム出身)</p> <p>現在、合谷先生の研究室で勉強しています。日本語が上手になって、日本で働きたいです。食の安全について学ぶことは日本で仕事をするのに役立ちます。</p>	 <p>プラワイロ アンTON Prawiro Anton (アントンさん) ガジャマダ大学卒 (インドネシア出身)</p> <p>日本の食の安全特別コースはいろいろなことを学べるとても興味深いプログラムです。修了後は日本の会社で仕事ができるので、いろいろ勉強したいと思います。</p>	 <p>シャカットプラカート ソンボン Jacutprakart Sombol (ボールさん) チュラロンコン大学卒 (タイ出身)</p> <p>香川大学に在学中は本コースの勉強をするだけでなく、日本でできる様々な体験をしたいと思います。また、将来は食品会社に就職したいと思っています。</p>
 <p>リ ヤン ヤン Li Yan Yan (李欣欣) (ヤンさん) 香港大学卒 (香港出身)</p> <p>日本人が持つ食へのこだわりに魅力を感じています。得意な語学力を活かし、国際関連や生産管理の仕事に携わるのが夢です。日本企業への就職を志しています。</p>	 <p>トーンケオウ サワリン Thongkaew Sawarin (ハントさん) カセサート大学卒 (タイ出身)</p> <p>日本語と日本の文化に興味があり、日本に留学したいと思っていました。将来は日本語を活かして自分の専攻分野に関する仕事をするつもりです。</p>	 <p>バーシトゥ アルム Baasithu Arum (アルムさん) ガジャマダ大学卒 (インドネシア出身)</p> <p>日本の食の安全とともに、日本の生活、文化、企業の事を勉強したいと思います。また、香川大学で得られる知識や経験などを職場で役立てたいと思います。</p>
 <p>タウフィク パンドゥダマイ インサニ Taufiq Pandudamal Insani (パンドゥッさん) ボゴール農業大学卒 (インドネシア出身)</p> <p>日本の食品工学がすばらしいことは、世界でもよく知られています。私は香川大学の日本の食の安全特別コースで勉強し、将来は日本で働きたいと思っています。</p>	 <p>ダオ ニャット クワン Dao Nhat Quang (ダオさん) ハノイ工科大学卒 (ベトナム出身)</p> <p>ベトナムの焙煎コーヒーとインスタントコーヒーのマイコトキシンについて研究しています。将来、日本の食の会社で働き、日越の友好な関係に貢献したいです。</p>	 <p>オウ ナンロ Wang Nanlu (王南露) (オウさん) 浙江工科大学卒 (中国出身)</p> <p>私は日本語と日本文化にたいへん興味があります。香川大学では、日本の企業文化を学んで、将来は日本の企業で働きたいと思っています。</p>